

## 【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-81  
補助事業名 平成26年度 地域の中堅・中小機械工業企業への技術開発等補助事業  
補助事業者名 一般財団法人機械振興協会

### 1 補助事業の概要

#### (1) 事業の目的

国内の中堅・中小機械工業企業への新規事業の創出を図るため、機械化が遅れている中小農業法人を対象に、機械工業の生産技術やICT技術を農作物の生産に応用するための技術開発を行います。

#### (2) 実施内容

地域の中堅・中小機械工業企業への技術開発等補助事業

([http://www.jspmi.or.jp/system/l\\_cont.php?ctid=130301&rid=1182](http://www.jspmi.or.jp/system/l_cont.php?ctid=130301&rid=1182))

中小ものづくり企業に対し、新規分野への参入を促進するための基盤技術を開発・提供し、オープンイノベーションによる企業支援事業へ発展させることを目的といたします。具体的には、以下のハードウェアとソフトウェアの2つの技術開発を行い、農業分野へのものづくり企業の参入を促進いたします。

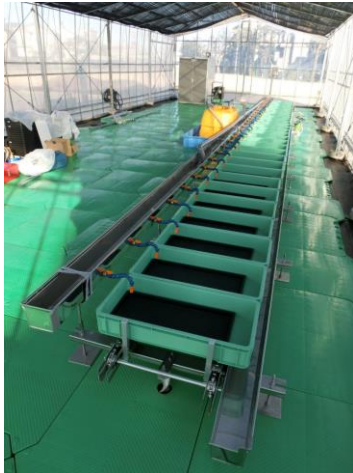
ハードウェアとしては、従来の植物工場とは異なり「外段取り」、「工程最適化」の手法を取入れた、農作物の生産技術「パレット生産システム」を開発します。

ソフトウェアとしては、リードタイムや生産性の変動が大きく、作り過ぎのムダやチャンスロスが課題となっている農業法人の生産に適応させるため、二次産業で実績がある標準技術を適応した「栽培管理システム」を開発します。

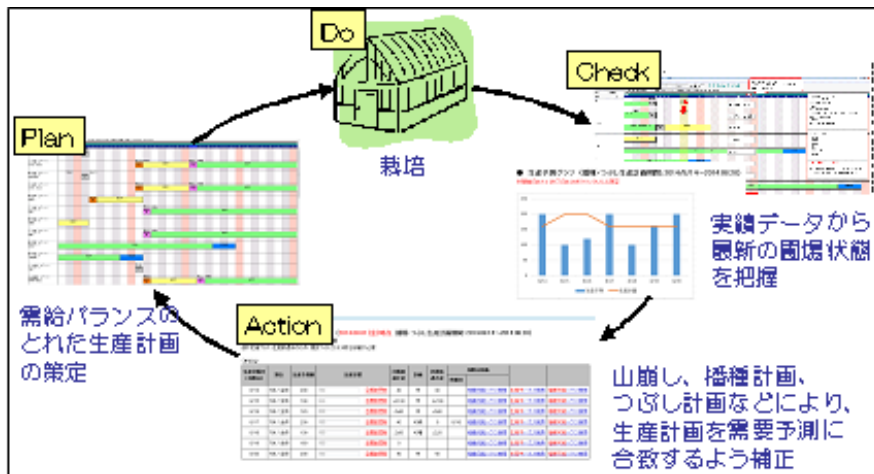
### 2 予想される事業実施効果

テクノフォーラム等における成果発表では、農業法人などからシステム導入に関する質問や見学の依頼がありました。今年度の成果に手直し等を施せば、水平展開が可能です。そのため、本事業の成果を元に、中小ものづくり企業を中心に農工連携ビジネスが活発化すると予想します。

具体的には、パレット生産システムでは、野菜の品種毎に栽培(播種密度、培地選択、施肥方法など)を最適化させることにより、ベビーリーフ以外の野菜生産に応用できます。また、新農業生産管理システムでは、活用した機械産業の標準技術であるORINにより、様々なハードウェアやソフトウェアとの接続性と拡張性が確保されます。そのため、多様なものづくり企業がビジネス参画し、多くの農業法人へと水平展開が可能となります。



パレット生産装置の育成装置



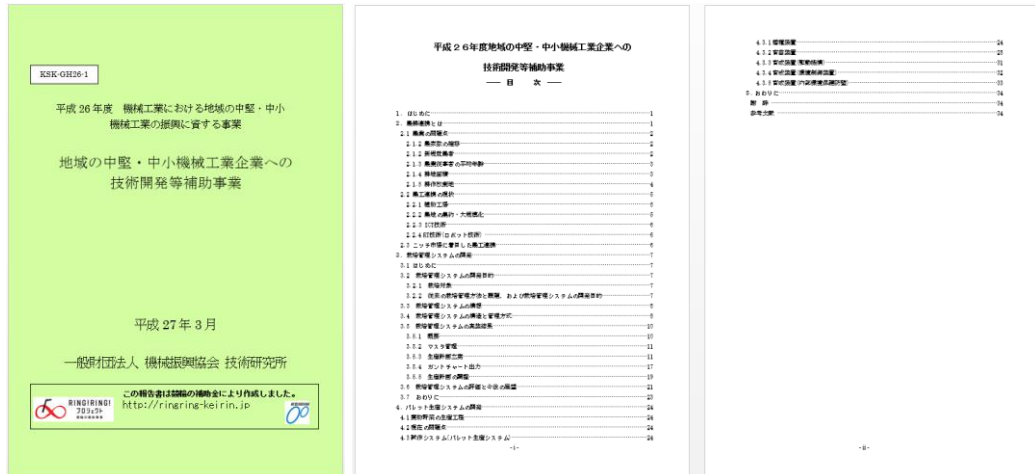
栽培管理システムの概要

### 3 本事業に係る成果物

#### (1) 補助事業により作成したもの

平成26年度 機械工業における地域の中堅・中小機械工業の振興に資する事業  
地域の中堅・中小機械工業企業への技術開発等補助事業

([http://www.jspmi.or.jp/system/file/2/82/ksk\\_gh26\\_1.pdf](http://www.jspmi.or.jp/system/file/2/82/ksk_gh26_1.pdf))



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの  
なし

### 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人機械振興協会 (キカイシンコウキョウカイ)

住所： 〒105-0011

東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館

代表者： 会長 庄山悦彦 (ショウヤマ エツヒコ)

担当部署： 技術研究所 技術開発センター (ギジュツケンキュウジョ ギジュツカイハツセンター)

担当者名： 飯塚 保 (イヅカ タモツ)

電話番号： 042-475-1188

F A X : 042-474-1980

E-mail : iizuka@tri.jspmi.or.jp

URL : <http://www.jspmi.or.jp/>